

乗鞍岳の火山活動解説資料（平成 29 年 7 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

乗鞍高原監視カメラ（乗鞍岳の東北東約 7 km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。

・地震活動（図 2 - 、図 3）

14 日から 17 日にかけて主に乗鞍岳の北東約 3 km 付近を中心に地震が一時的に増加しましたが、それ以外の期間では地震の発生回数は少なく、地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図 2 - ~ 、図 4）

GNSS¹⁾連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 乗鞍岳 山頂部の状況
(7月7日 乗鞍高原監視カメラによる)

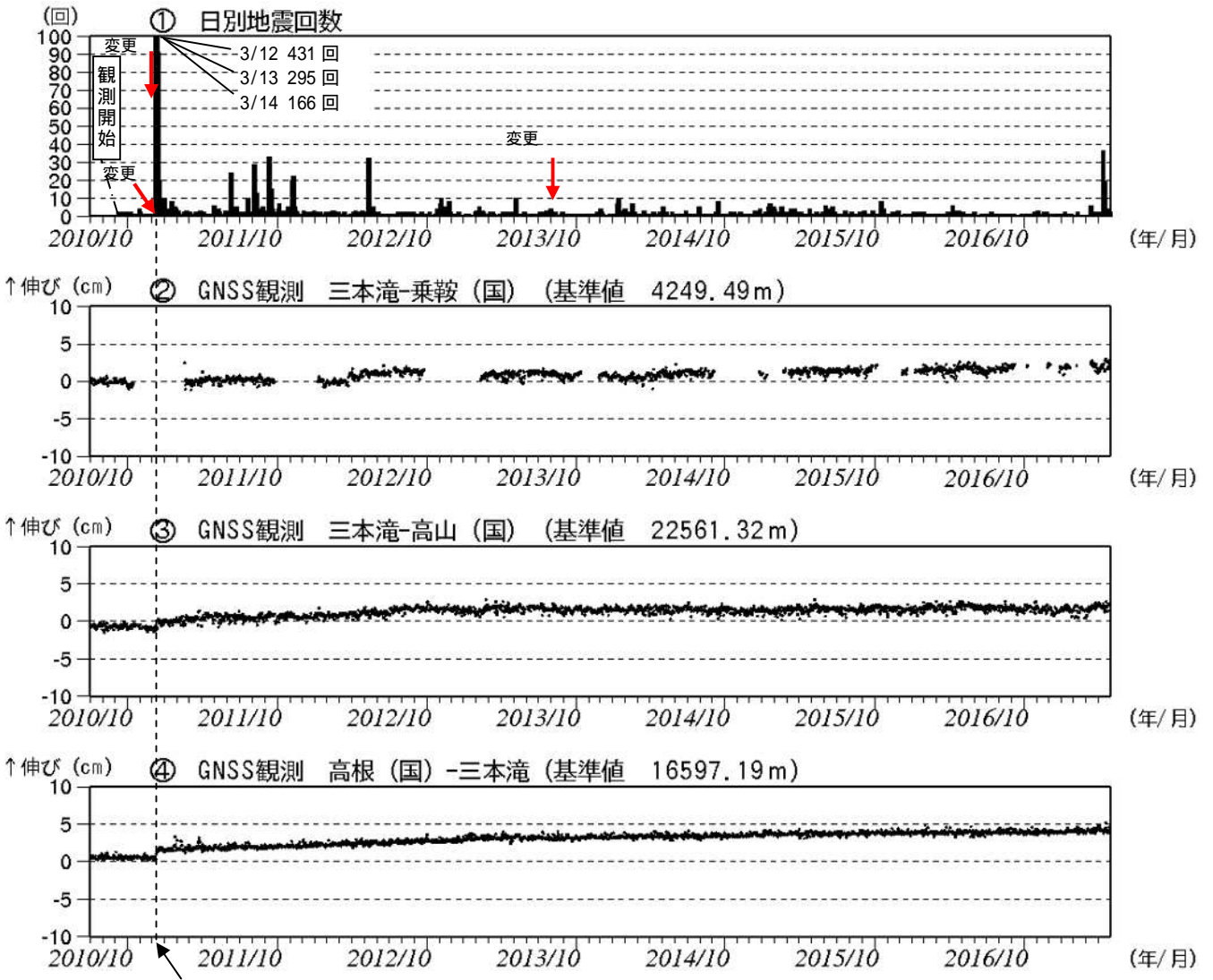
この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) で閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 29 年 8 月分）は平成 29 年 9 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、名古屋大学、東京大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

乗鞍岳

【計数基準の変遷】			
観測開始	2010年12月10日	~ 2011年3月1日	三本滝振幅 0.5 μ m/s 以上、S-P2 秒以内
変更	2011年3月2日	~ 3月10日	三本滝振幅 0.5 μ m/s 以上、S-P1 秒以内
変更	2011年3月11日	~ 2013年11月1日	三本滝振幅 3.0 μ m/s 以上、S-P1 秒以内
変更	2013年11月1日	~	三本滝振幅 2.0 μ m/s 以上、S-P1 秒以内



平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震

図 2 乗鞍岳 火山活動経過図

乗鞍岳周辺の日別地震回数 (2010 年 12 月 10 日 ~ 2017 年 7 月 31 日)
 ~ GNSS 連続観測による基線長変化 (2010 年 10 月 1 日 ~ 2017 年 7 月 31 日)
 (国): 国土地理院

- ・ の基線には、『平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震』に伴うステップ状の変化がみられます。
- ・ ~ は図 4 の GNSS 基線 ~ に対応しています。
- ・ のグラフの空白部分は欠測を示しています。

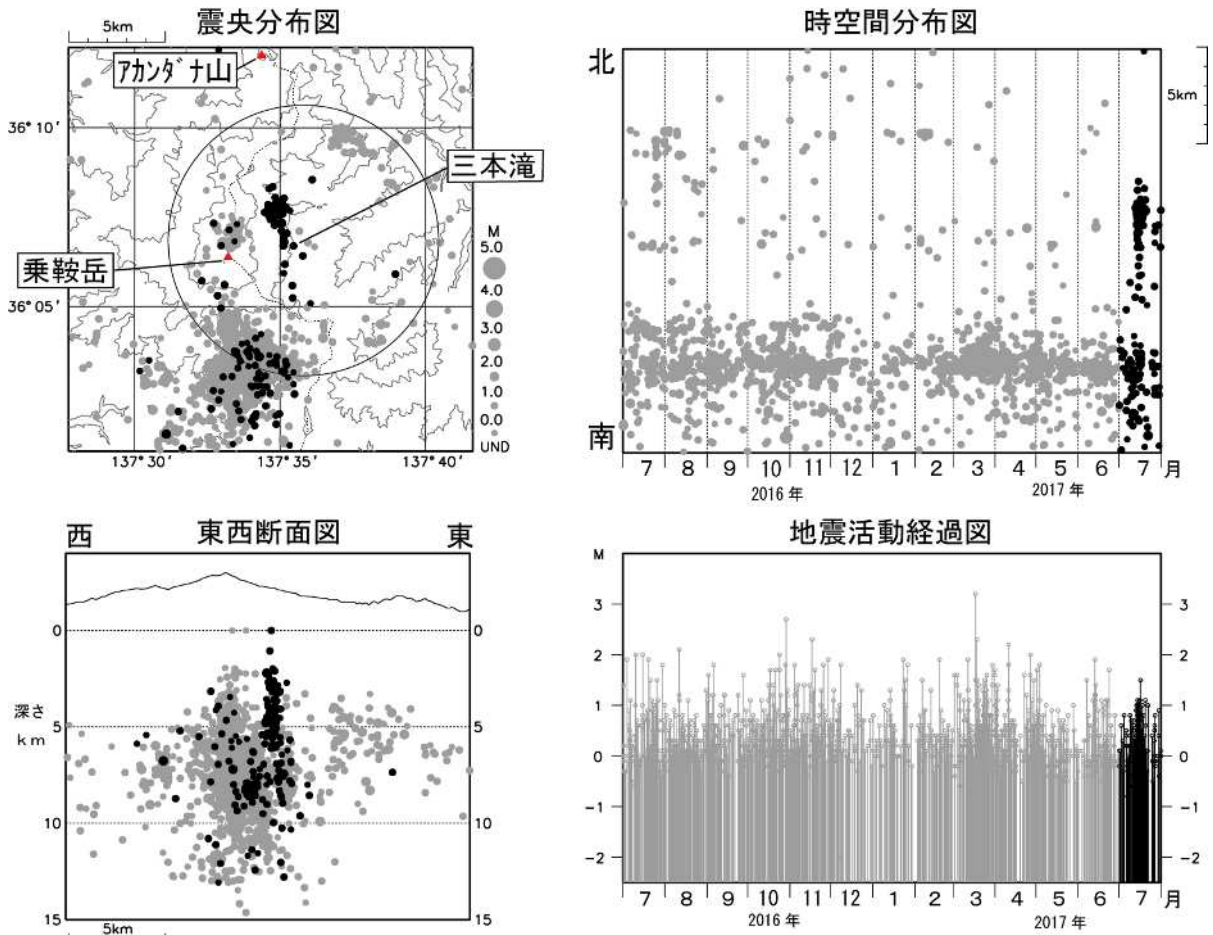


図3 乗鞍岳 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2016年7月1日~2017年7月31日)

- ・ 2016年7月1日~2017年6月30日 : 2017年7月1日~7月31日
- ・ 14日から17日にかけて主に乗鞍岳の北東約3km付近を中心に地震が一時的に増加しました。
- ・ 震央分布図中の円は図2 - の計数対象地震(三本滝でS-P時間1秒以内)のおよその範囲を示しています。
- ・ 広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。
- ・ M(マグニチュード)は地震の規模を表します。
- ・ 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

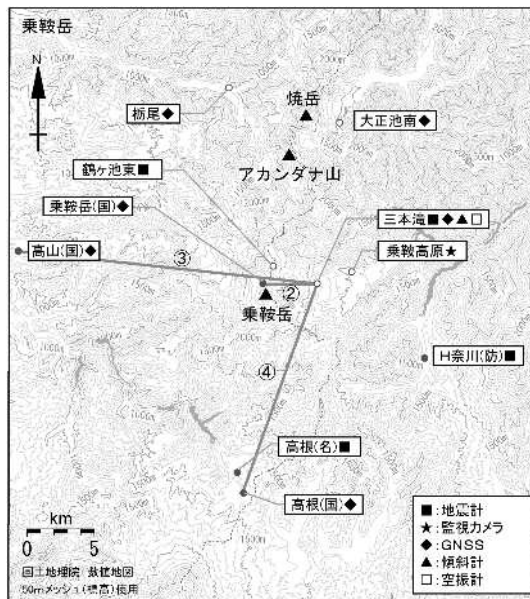


図4 乗鞍岳 観測点配置図

GNSS 基線 ~ は図2の ~ に対応しています。